



# 八頭町関西事務所だより

令和8年冬号

発行元  
八頭町関西事務所

〒530-0001  
大阪市北区梅田1-1-3-2200  
大阪駅前第3ビル22階  
鳥取県関西本部内

【お問い合わせ】  
八頭町関西事務所 谷口  
電話  
090-1688-0308  
Fax  
06-6341-3972  
Mail  
kansai-yazu@opal.ocn.ne.jp

## 八頭町合併20周年記念式典を開催

平成17年3月31日、郡家町・船岡町・八東町の3町が一つになって誕生した八頭町。この20年の節目を町民の皆さんとともに祝い、これまでの歩みを振り返るため、昨年11月2日(日)に八東体育文化センターで「八頭町合併20周年記念式典」が開催されました。

式典は、澤神社麒麟獅子舞の荘厳な舞で始まります。吉田町長は式辞として「これからも町民の皆様とともに、未来へ続く活力のあるまちへ」と挨拶し、石破前総理をはじめ、平井鳥取県知事などから、祝辞がありました。

その後、町の発展に尽力された方々への善行・功労表彰や感謝状の贈呈が行われました。

また、韓国横城郡(フエンソングン)との友好交流協定締結20周年を記念し、銅板の除幕式も行われ、今後様々な分野での友好交流の進展が期待されます。

式典の締めくくりには、この20年の歩みや、町への想いを町民のインタビュも交えるなどしてまとめた動画が上映されると、懐かしい映像に笑みがこぼれたり、未来の八頭町へのメッセージに耳を傾けたりと、会場全体で「未来へつながる想い」を共有する時間となりました。



石破茂前総理もお祝いに駆けつけました

## 三風改メ五代目 桂慶枝 襲名披露八頭公演



口上を務められた桂小文枝師匠(中央)

「昨秋、明治以来の名跡となる「五代目 桂慶枝」を襲名され、落語家としての第2章を歩み始められた桂慶枝師匠。昨年も、5月に開催された上方落語の祭典「彦八まつり」、9月には八頭町CATV公開収録寄席「慶枝・一海ふたり会」、また12月7日には、天満天神繁昌亭で2年ぶりとなる「花御所寄席」など、関西でも様々な場面で、八頭町PRに絶大な協力をいただきました。

「ぜひ八頭町で襲名公演を」とのご本人からの想いを受け実現したのが、昨年12月21日(日)に開催された八頭公演。ゲストに桂小文枝さん、笑福亭銀瓶さんを迎え、全国15カ所で開催された「慶枝」襲名披露公演のファイナルとなりました。

会場は、落語会初開催となる大江ノ郷バンケット。セットした高座には文枝一門から贈られた襲名披露の後ろ幕が飾られ、前売時点で完売御礼となるなど、多数のお客様が祝意を込めて、慶枝師匠をお迎えしました。

公演では、小文枝さんによる口上をはじめ、慶枝師匠は2席を披露。トリの演目が終わると、会場からの大きな拍手とともに、来場者を代表して吉田町長から花束が贈られるサプライズには、師匠も感慨ひとしおの様子でした。師匠の今後益々のご活躍をご祈念いたします。



慶枝師匠、益々のご活躍を!



## 関西圏での八頭町イベント情報【報告】

### 神戸市長田区「まちの文化祭2025」に参加

11月23日(日)、同区『ふたば学舎』で開催された「まちの文化祭」に参加し、八頭町農産物(柿/梨/エリンギ/シイタケ等)を販売しました。好天にも恵まれ多くのお客様で賑わいました。

長田区とのご縁は、先の大戦時に当時の二葉国民学校の学童が、船岡村に疎開したことから始まり、その後も同窓会や阪神淡路大震災時の被災支援等の交流が続いています。

当日は、当時の疎開児童だった方のお子様が来られ「その節は母が大変お世話になった」と感謝の言葉を頂きました。当時の絆が世代を超えて語り継がれていることを改めて実感しました。



### 天神橋商店街で「八頭町農産物フェア」を実施

12月10日(水)～11日(木)、「日本で一番長い商店街」として有名な大阪市天神橋商店街で「八頭町農産物フェア」を実施しました。両日とも寒さ厳しい中ではありましたが、『八頭町農業青年会議』のメンバーを中心に、柿や梨の生鮮品をはじめ、はちみつ等の加工品を販売しました。

生産者と消費者が直接向き合うことで会話も弾み、商品の詳しい説明が聴けたとお客様に大好評でした。多くの商店が並ぶ有名商店街で他とは一味違う販売を行うことで、八頭町をしっかりとPRできました。

鳥取県関西本部から森本本部長他多くの方がお見えになり、購入と激励を頂きました。



**当日は関西八頭町会会員の方もお見えになり差入も頂戴しました。深謝!!**



## 新年のごあいさつ

八頭町関西事務所商工観光コーディネーター 谷口史朗

明けましておめでとうございます。昨年4月に商工観光コーディネーターに就任し、早や1年が経とうとしておりますが、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

実家で暮らしていた頃、正月は元旦に「隼神社」へのお参りや、中旬の「とんどさん」など、地域との絆を感じさせる行事が自然と組み込まれていたものです。地元を離れて半世紀になりますが、今でも隼での生活を懐かしく思い出します。

さて、当事務所では、今年も「ふるさとやずの集い」など皆様に八頭を感じて頂ける機会をご案内いたします。ぜひご参加頂き、それぞれの八頭を想って頂ければ幸甚です。また、新規会員も募集しておりますのでご紹介を宜しくお願いいたします。



会員皆様にとりまして  
幸多き年となりますよう  
ご祈念申し上げます

## シリーズ「八頭の四季」冬

八頭町の年始は各地で積雪、除雪車も出動しました  
成田山青龍寺では毎年2月に節分会が行われ多くの方が参拝に訪れます



成田山青龍寺の竹灯籠



大樹寺のウラクスバキ